

1

いじめをしない、させない、許さないための意識の醸成

◆学習のねらい

互いの立場を尊重し、いろいろなものの見方があることを理解し、寛容の心をもとうとする態度を育てる。

◆評価

自分の考えに固執することなく、相手の考えや立場を尊重した言動を心掛けようとする意識を高めている。

◆教育課程における位置付け

特別の教科 道徳（相互理解、寛容）

◆主な使用教材

・「言葉の向こうに」（文部科学省『私たちの道徳』中学校）

展開例

	学習活動（◇教師の発問例）	○指導上の留意点
導入 5分	1 インターネットのサイトについて理解する。 ◇ ファンサイトや掲示板のサイトを知っていますか。自分の考えや意見を書き込んだことはありますか。	○ インターネットのサイトについて共通理解を図る。
展開 35分	2 教材「言葉の向こうに」を読み、話し合う。 ◇ 加奈子は、どんな気持ちから、何度も必死で反論しているのでしょうか。 【中心発問】加奈子が忘れていた「一番大事なこと」とはどのようなことでしょうか。	○ 加奈子の立場に立ち、感情的になっていることや、整理がつかない気持ちになっていることに気付かせる。 ○ 相手のことを理解しながら、言葉を発信することが大切であることに気付かせる。
終末 10分	3 今日の学習を振り返る。 ◇ 授業で考えたこと、感じたこと、これから意識したいことを書きましよう。	○ 相手の思いを押し量り、互いに理解しようとする大切さに気付かせる。

板書例

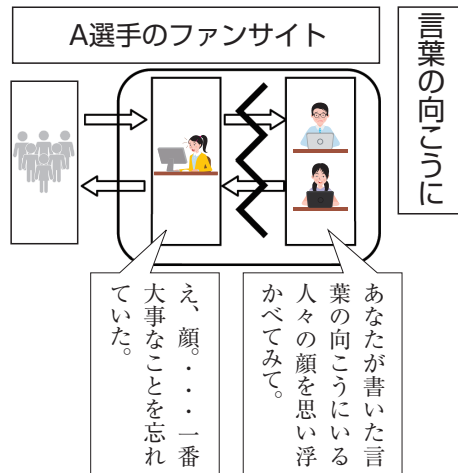
授業で考えたこと、感じたこと、これから意識したいことを書きましよう。

- ・相手も自分も嫌な気持ちになってしまうから。
- ・相手を傷付けてしまい、自分も後になって後悔するから。
- ・相手から学び、自分を成長させることができるから。

○なぜ、その考えが大事なのでしょうか。

- ・サイトはみんなが見ているし、自分勝手な行動だった。
- ・自分が正しい、いけないことなんてしてないと思っていた。
- ・人それぞれ意見は違うはずだから、相手を尊重することが大切だった。

○加奈子が忘れていた「一番大事なこと」



1 いじめをしない、させない、許さないための意識の醸成

◆学習のねらい

正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、正義を実現しようとする態度を育てる。

◆評価

いじめや不正な言動に向き合い、正義と公正を重んじようとする意識を高めている。

◆教育課程における位置付け

特別の教科 道徳（公正、公平、社会正義）

◆主な使用教材

- ・「傍観者でいいのか」（東京都教育委員会『人権教育プログラム』平成16年3月）
- ・東京都教育委員会『令和2年度 東京都道徳教育教材集 中学校版 心みつめて』

展開例

	学習活動（◇教師の発問例）	○指導上の留意点
導入 5分	1 いじめの構造について理解する。 ◇ いじめには、どのような立場の人がいるのでしょうか。	○ いじめの構造図を提示する。
展開 40分	2 教材「傍観者でいいのか」を読み、話し合う。 ◇ どうして、このような状況になったのでしょうか。 【中心発問】「見て見ぬふりをする生徒たち」のように行動してしまうのは、どうしてでしょうか。 3 いじめの状況を解決することができないかを考える。 ◇ 今日の話のような状況を解決するためには、どうすればよいのでしょうか。	○ それぞれの登場人物について、感想を述べ合う。 ○ 傍観者であってはいけないと分かっても踏み出せない背景や心情を見つめ、人間の弱さを克服しようとする思いを話し合わせる。 ○ 話し合いのグループ構成には十分配慮する。
終末 5分	4 『心みつめて』150ページの「什の掟」を読み、学習を振り返る。	○ いじめや不正な言動を絶対に許さないという一人一人の態度が大切であることに気付かせる。

板書例

○ いじめの状況を何とかすることはできないのでしょうか。

- ・ 関わりたくない気持ち強い。
- ・ 止めようとしても、みんなが味方になつてくれるか分からない。
- ・ でも、いじめを見て見ぬふりをする人も、いじめを受けている人の関係者からは、いじめに加担していると思われることもある。

○ 「見て見ぬふりをする生徒たち」のように行動してしまうのは、どうしてでしょうか。

- ・ 何も言わない人がいる。
- ・ Bさんたちと関わりたくない。
- ・ 「私」もいじめられるかもしれない。
- ・ 今度は、「私」がいじめの対象になるかもしれない。

○ どうして、このような状況になったのでしょうか。



傍観者でいいのか

教材文

傍観者でいいのか

夕べからの雨が降り続けている。「今日も雨か。」
 昨日、帰るときAさんの上履きがぬれて泥だらけになっていたことを思い出した。
 「遅れるわよ。急ぎなさい。」と母の声が聞こえた。私は、重たいかばんを引きずるよ
 うにして家を出た。学校へは行きたくなかった。学級が嫌だった。

二年生になって学級替えがあった。私はみんなに推薦されて学級代表になった。にぎやかな学級だなあと思っていた。そして、みんなのためにできることをやろうと思った。初めて一緒に学級になった人の中にAさんがいた。気が弱く、ちよつと頼りなさそうなどころがあったが、冗談を言って周りを笑わせる。何を言われてもニヤニヤ笑っていた。AさんはBさんやそのグループの仲間といつも一緒だった。毎朝Bさんの家に迎えに行き、Bさんの荷物をもって登校していた。私は、「断ればいいのに」と思っていた。

ある日、Aさんは朝寝坊をしたらしく、Bさんの家に寄らずにあわてて登校することがあった。登校すると、AさんはBさんたちに呼ばれた。戻ってきたAさんは下を向いて苦しげだったが、すぐに冗談を言っているようにおどけていた。それからは、Aさんは今までにもましてBさんたちの言いなりになった。学級の前でもBさんは平気でAさんをからかったり、命令したりするようになっていた。学級の人の中にはBさんたちと一緒にAさんをからかって笑う人まで出てきた。でも、ほとんどの人は、何も言わなかったし、何もしなかった。

Bさんは「Aが遊ぼうっていうから一緒に遊んでやっているだけだし、Aだって笑っているじゃないか。」と声高にみんなに話していた。
 私は、「Aさん、なんで笑っているの。怒ればいいのに。」と思った。

一学期の終わりころになると、Aさんは身体の不調を訴え、早退したり欠席したりすることが多くなった。
 放課後、私は掲示物を直していた。その時、思い詰めたような顔をしたDさんに話しかけられた。「Aさんをこれ以上ほっておけない。」私は、はっとした。
 Dさんは、休んでいるAさんの家に行つて話を聞いたそうだ。Aさんはボロボロと涙を流して「いじめられるのはつらい。もう学校へは行かない。」と言ったそうだ。Bさんたちから言われたことを断ると、殴られたりしていたそうだ。
 やっぱりつらかったんだ。苦しかったんだと思った。

東京都教育委員会『人権教育プログラム』（平成16年3月）より一部改編

資料等

○中心発問等で使用するワークシート

道徳学習ワークシート

()年()組()番 名前()

★ 「見て見ぬふりをする生徒たち」のように行動してしまつたのは、どうしてでしょう。

★ 今日の話のような状況を解決するためには、どうすればよいでしょうか。

○終末で使用する『心みつめて』（150ページ）

「仕の掟」（抜粋）

虚言を言うことはなりません
 卑怯な振舞をしてはなりません
 弱い者をいじめてはなりません
 ならぬことはならぬものです

1

いじめをしない、させない、許さないための意識の醸成

◆学習のねらい

考え方や価値観の違いを認識し、互いを尊重することにより、より良い学級や学校、豊かな未来を築くことができることを認識させる。

◆評価

他者との関わりの中で、異なる考え方や価値観の違いを調整し、互いを尊重することがより良い社会の形成につながることに気づき、表現している。

◆教育課程における位置付け

人間と社会

◆主な使用教材

・東京都教育委員会『人間と社会』改訂版教科書 90～95 ページ

展開例

	学習活動（◇教師の発問例）	○指導上の留意点
導入 5分	1 本時の学習を知る。 これまで学んだことを生かして、どのようにして幸せな世の中にしていくなか考えよう。	
展開 40分	2 「周りの人の幸せ」「自分の幸せ」について考える。 ◇ 90 ページのブータン王国に関するコラムを読み、「幸せになりたかったら、まず、周りの人の幸せを願って、そのためになにかすることが大切なんだ。自分の幸せを探し出したら、幸せは、みつからないんだよ。」と述べられている点について、自分の考えを発表しましょう。 【発表のポイント】 ① 「周りの人の幸せ」「自分の幸せ」の違いについて考える。 ② 「自分の幸せを探し出したら、幸せは、みつからない」と長官が述べた理由について考える。 ③ 「自分の幸せを探し出したら、幸せは、みつからない」という長官の考えに対して考えたことを、ペアの相手に述べ、聞き合う。 ④ グループになり、具体的なケースを挙げ、より自分の考えを深める。 ⑤ グループ内で討論する。相手が異なる考え方を示す理由に注目して、双方の意見を聞き合う。	○ 「発表のポイント」①を基に、自分の考えをまとめさせる。 ○ 近くの人とペアを作り、意見交換をさせる。 ○ 「発表のポイント」②～⑤を基に、意見交換をさせる。
まとめ 5分	3 それぞれの「幸せ」を踏まえ、「幸せな世の中にしていくなか」ために何ができるか考える。 ◇ 92 ページの「ケーススタディ～あなたならどうする？」から、自分の意見に一番近い人を選びましょう。 4 『人間と社会』95 ページの最後の部分を読み、この部分が、なぜ「いじめ防止」につながっていくのかを考え、発表する。	○ 「自分に何ができるか」という視点を意識させる。
	5 話し合ったことを踏まえ、「人間と社会」95 ページの最後の部分をもう一度読む。	○ 異なる考え方や価値観の違いを調整することが、いじめ防止になることにも気付かせる。

板書例

これまで学んだことを生かして、どのようにして幸せな世の中にしていくなか考えよう。

- 「周りの人の幸せ」「自分の幸せ」について考える。

「幸せになりたかったら、まず、周りの人の幸せを願って、そのためになにかすることが大切なんだ。自分の幸せを探し出したら、幸せは、みつからないんだよ。」

自分の考え

- ・私はこの考えに賛成です。自分の幸せ以上に周りの人の幸せのために行動することが大切だと思います。
- ・私はこの考えに反対です。まずは自分が幸せでなければ、周りの人を幸せにすることはできないと思います。

- 「幸せな世の中にしていくなか」ために何ができるか考える
- ケーススタディ～あなたならどうする？

調 整 中

○『人間と社会』92 ページ

◆ケーススタディ～あなたならどうする？

次の場面で、あなたは、どんな選択をしますか。それはどのような理由によるものですか。

教室ではブータンの話に関するペアワークが終わったばかり、次に「どのように幸せな世の中にしていく」のかということについての話し合いが続いています。

Aさん：幸せの国日本に住む私としては、やっぱり、家族第一、次に友達かな、好きな人は、もしかしたら将来の家族ということで、家族一番！…（笑）

まず、周りの人とのつながり、結び付きを大切に、身近な人を幸せにしていきたい。自分の周りの人が幸せじゃないのに、「幸せな世の中にしていく」なんて無理でしょ！だから私は…

Bさん：私は、この日本で実現可能なことといたら、職業を通じて幸せな世の中に貢献することだと思っている。どんな職業でも人を幸せにできるはず。起業して成功すれば、寄付とかもたくさんできるしね。そうなりたいから、まず私としては…

Cさん：わあ、起業なんてカッコイイ！私はね、「幸せな世の中」って、人の笑顔があふれている世の中だと思う。笑顔って見ているだけで、幸せな気持ちになれるじゃない。だから、ずっと、周りの人と一緒に笑っていられたらいいな、と思う。そのためにも、私は…

Dさん：みんなの意見を聞いて、人の価値観ってつくづく違うと思ったから「幸せ」の感じ方もいろいろだと思う。人それぞれが何を望むか分からないのに、「幸せな世の中にしていく」っていうのは、ちょっと上から目線で偉そうな気がする。幸せにできるのはその人自身しかないと思うから。まずは自分自身が幸せになること、そうすれば、つまりは全員幸せになれるわけでしょう。だから、自分としては…

○『人間と社会』95 ページ

これから、あなたは様々な人と会うことでしょう。考え方の違いに戸惑いを感じたり、分かり合えなくて悲しい思いをしたりすることもあるでしょう。そのようなときは、この教科で学んだことを思い出してみてください。一人一人の考えが違うのは当たり前のことです。家族や親友であっても全く同じ意見の人はいません。

しかし、お互いが理解することを諦めなければ、互いの心に橋を架け合うことができるはずですよ。どうか、互いに理解することを諦めないでください。多様な価値観をもつ人と出会い、関わり、ときにはぶつかり、高め合えるからこそ、私たちは幸福な人生を切り拓き、よりよい社会と、豊かな未来を築くことができるのです。何よりも、違った考えや価値観をもつ者同士が理解し合うこと、これこそ、人間だからできることなのです。

「これからのあなた、
あなた自身は何を大切に、どのように生き、
そしてどのようにして幸せな世の中にしていきますか。」

1

いじめをしない、させない、許さないための意識の醸成

◆学習のねらい

自分の好き嫌いにとらわれず、誰とでも仲良く接することができる心情を育てる。

◆評価

自分と友達の考え方には違いがあることが分かり、誰とでも仲良くすることの大切さに気付いている。

◆教育課程における位置付け

特別の教科 道徳（公正、公平、社会正義）

◆主な使用教材

・「みんなとなかよく」（文部科学省『わたしたちの道徳』小学校1・2年）

展開例

	学習活動（◇教師の発問例）	○指導上の留意点
導入 5分	1 友達と仲良くできなかった生活経験を想起する。 ◇ 友達と仲良くできなかったことはありますか。そのとき、どんな気持ちでしたか。	○ 本時の学習活動について、スライド等を活用して説明する。 ○ 児童・生徒の実態に応じて、絵カード等を活用し、気持ちを表現させる。
展開 30分	2 教材「みんなとなかよく」を読み、話し合う。 ◇ ライオンさんに、「どうして、みんなといっしょにおさるさんをなかまはずれにしないの。」と言われたうさぎさんは、どんな気持ちになったでしょう。 【中心発問】もやもやした気持ちのうさぎさんは、どんなことを考えているでしょう。	○ 教材提示の際は、児童・生徒の実態に応じ、場面絵を活用した紙芝居等を活用する。 ○ おさるさん、ライオンさん、うさぎさんになって役割演技を行う。
終末 10分	3 今日の学習を振り返り、して良いこととしてはいけないことを考える。 ◇ 「みんなとなかよく」の絵を見て、して良いことと、してはいけないことはどれでしょうか。	○ 『わたしたちの道徳』小学校1・2年166、167ページの絵を見て、判断した理由を発表させる。

板書例

○「してよいことと、してはいけないことはどれでしょうか。」

- ・おさるさんよりゆうをはなす。
- ・ライオンさんのことを気にせず、おさるさんとあそぶ。
- ・ライオンさんに、「なかまはずれはいけない」とはなす。
- ・どうしたら、みんななかよくあそべるかはなしあう。

○もやもやしたきもちのうさぎさんは、どんなことをかんがえているでしょう。



みんなとなかよく

どうして、なかまはずれにしないの。

いじめをしない、させない、許さないための意識の醸成
互いの個性の理解
望ましい人間関係の構築
規範意識の醸成
教員研修プログラム
いじめ問題への対応事例
保護者プログラム
地域プログラム

教材文

あなたが うきぎさんだったら、どうしますか。

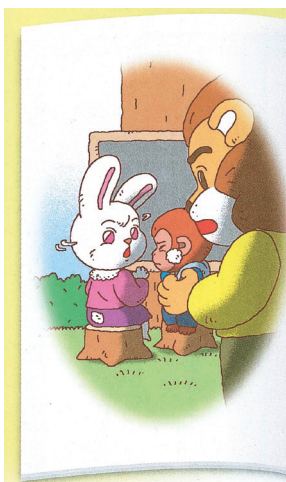
おさるさんと ライオンさんと うきぎさんは、 同じ 学級のともだちです。 でも、少し前から おさるさんの 元気がありません。 どうやら 学級の みんなから なかまはずれに されて いるみたいです。



つぎの日、うきぎさんは、おさるさんに「いっしょに あそぼう。」と さそわれましたが、聞こえないふりをして、ライオンさんのところに 行きました。でも、なんだか もやもやした 気もちになりました。



ある日、うきぎさんは、おさるさんに 元気を 出して ほしくて 話しかけました。すると、それを 見て いた ライオンさんに「うきぎさん。どうして、みんなと いっしょに おさるさんを なかまはずれに しないの。」と 言われました。



文部科学省『わたしたちの道徳』小学校一・二年

資料等

○中心発問で使用するワークシート

道徳学習ワークシート

★もやもやした気持ちのうきぎさんは、
どんなことをかんがえているでしょう。

()年()組()番 名前()

○終末で使用する教材『わたしたちの道徳』(166～167ページ)

みんなと なかよく

して、よいわけと しては、いけない わけを、考えて みましょう。

いじめをなく、なかが、よいとよいから、意見を、いっしょ、さんせいします。

いじめをなく、なかが、よいとよいから、意見を、いっしょ、さんせいします。

いじめをなく、なかが、よいとよいから、意見を、いっしょ、さんせいします。

いじめをなく、なかが、よいとよいから、意見を、いっしょ、さんせいします。